

みどりの式典

みどりの学術賞・緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰を授与

4月25日、東京都千代田区の憲政記念館で天皇后両陛下御臨席のもと、安倍内閣総理大臣、林農林水産大臣をはじめ約250名が出席し、第8回みどりの式典が開催されました。
式典では、「みどりの学術賞」及び「緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」の授賞式が行われました。

「みどりの月間」(毎年4月15日から5月14日まで)に開催されている「みどりの式典」は、「みどりの

も作ってくれた人には感謝しても、植物に感謝することはなかったように思っています。ところが、自分で

日」についての国民の関心と理解を一層促進し、「みどりに」についての国民の造詣を深めるために内閣府によって主催されており、「みどりの学術賞」の授与と「緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」が行われます。



食事の支度をし、米を研いだり、キュウリを刻んだりしてみて、確かにみどりの命を頂いて生きているのだと実感するようになり、以後、食事の支度をする度に植物に感謝しております。また、みどりの植物がいなくなると、酸素が作られなくなったらどうなるかを考えると、これは大変なことだと、みどりを大切にしなければならぬということ

第8回みどりの学術賞を受賞した柴岡弘郎氏は受賞者を代表して、「私達は、みどりの植物が作った食べ物を食べ、みどりの植物が作った酸素を吸って生きています。知識として十分に知っていましたが、ある時までは実感することがなく、食事の時

とが胸にしみてきます」と述べ、「みどりの大切さを訴えるとともに、研究や活動に対する支持・協力への感謝の意を表しました。



